

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-02 国県道対策運営事務 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名				
					1148	協議会関連事務			
主管課	国県道対策担当		関連課		<small>道水路管理課、道路整備課、都市計画課、交通政策課、大船駅周辺整備課</small>				
分野名	総合交通								
目標 (目標値)	国・県及び住民等と面談を密にし、国県道の機能整備を図る。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	1,225千円	1,044千円						
	(国・県)						指標と評価		
	(負担金等)						指標		
	(一般財源)	1,225千円	1,044千円				評価		
	人員配置数	1.1人	1.8人						
	人件費	10,083千円	16,862千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー	国土交通省、神奈川県、 東日本高速道路(株)	国土交通省、神奈川県、 東日本高速道路(株)				目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	11,308千円	17,906千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	64円	101円	21年度					
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・ 国の事業である、首都圏中央連絡自動車道の一部を形成する横浜湘南道路では、事業着手に向け地元住民に説明会を開催したが理解を得るに至っていない。 ・ 県の事業である、国道134号鎌倉高校駅前交差点の改良事業では、自然環境の保全を求める団体等の理解を得るに至っていない。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 両事業とも、地元等の理解を得るに至っていない。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も、事業主体である国・県と連携し、地元等の理解を得るため継続して対応していく。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	・ 本市の交通環境改善のため、国道・県道の整備は重要であることから、事業主体である国・県と連携し、継続して取組む。		評価結果	改善の必要性	・ 事業主体である国・県の事業対応を踏まえ、連携して取組む。			
B	無し			B	無し				
課長名	国県道対策担当担当課長 梅原 秀晃			部名・部長名	都市整備部 山内 廣行				